



第15回 「人文知」 コレギウム

澤田 稔（東洋史・教授）

聖者と政治

—中央アジア東部の近世史—

中央アジアは16世紀から新たな民族形成の時代に入る。ウイグル、ウズベク、カザフなど現在につながる民族の基盤が築かれていく。本報告では、東トルキスタン（中国・新疆）におけるウイグル人の形成に関連して、ナクシュバンディー教団系統のイスラーム宗教貴族、カシュガル・ホージャ家が地域統合にはたした役割について考察する。



カシュガル・ホージャ家墓廟



アイルランド国立図書館

結城 史郎（イギリス文学・准教授）

ウィリアム・シェイクスピアへのジェイムズ・ジョイスの敵対—『ハムレット』の改作を中心に—

ウィリアム・シェイクスピアはイギリス文学の聖像であり、世界的にその名前が知られている。そのシェイクスピアにライバル意識を抱いたのが、イギリス支配下のアイルランドの作家のジェイムズ・ジョイスである。本報告では、ジョイスの『ユリシーズ』におけるアイルランド国立図書館での『ハムレット』論を取りあげ、このテキストへの被支配者の受容を検討し、現代における『ハムレット』改作へと視点を広げたい。

2019年10月23日(水) 13:30-15:30
富山大学人文学部・1階・大会議室

一般の方の聴講歓迎・事前申し込み不要・無料

お問い合わせ 富山大学人社系総務課(人文担当) Tel 076-445-6131 Fax 076-445-6141